

# 令和元年第4回定例町議会

## —— 行政報告 ——

令和元年12月9日提出

俱知安町長 文字一志

倶知安厚生病院の旧棟改築整備について、ご報告申し上げます。

北海道厚生農業協同組合連合会（以下、道厚生連）は、第9次  
中長期計画（2019年から2024年）の策定にあたり、倶知  
安厚生病院旧棟の老朽化と耐震化の必要性から整備計画に盛り込  
む必要があり、羊蹄山麓7カ町村長と倶知安厚生病院等で構成す  
る「倶知安厚生病院医療機能検討協議会（以下、検討協議会）」に  
整備計画が示されておりました。羊蹄山ろく7カ町村の首長とし  
ては、倶知安厚生病院が公的医療機関、地域センター病院、災害  
拠点病院、原子力災害医療協力病院としての機能を維持し、地域  
医療の確保、そして地域とともにより充実した体制づくりが、こ  
の地域で住民が暮らす上で必要不可欠である、との認識に立ち、  
環境整備を推進することは必須であるとの力強い意志統一が図ら  
れてきたところです。今後のスケジュールとしては、道厚生連の  
都合を考慮し、10月に大筋合意、年末までに決定が必要とされ  
ていると、9月定例議会で報告を申し上げたところです。

その後、10月の大筋合意に向け羊蹄山麓町村長会議において  
協議を重ね、また、10月31日には、道厚生連代表理事会長と  
山麓7カ町村長との面談も実現し、道厚生連の自己資本による改  
築整備の可能性について、直接、会長とも協議しましたが、これ  
までの要請と同様の回答に終始したところです。

これらの経過を踏まえ、道厚生連に対し、

1点目として、倶知安厚生病院が公的医療機関、地域センター  
病院、災害拠点病院、原子力災害医療協力病院として必要不可欠

であることから、強靱化、再整備を進めるため、倶知安厚生病院改築整備にかかる整備費用28.2億円を上限として関係自治体が負担することについて合意する。

2点目として、地域の安心・安全の立場から地域医療の確保のため、当面のあいだ不採算部門である救急・小児・産科・精神・外国人診療・訪問診療にかかる赤字補てん額を上限2億円として支援することについて合意する。

3点目として、地域医療構想に係る再編・統合や社会保障費削減のための診療報酬改定など、国の政策や情勢が先行き不透明なことから、検討協議会において、倶知安厚生病院の診療機能及び関係自治体からの支援等について協議する。

との内容により合意に向け提案いたしました。道厚生連からは、整備費用は現時点での概算金額であることから、28.2億円を上限とするものではなく、今後の動向も考慮し整備費用の全額とすること。また、不採算部門にかかる赤字補てん2億円の支援に関しては、本年度からの実施とし、この確約がなければ理事会をはじめ関係省庁においての計画変更の承諾が得られないと考える、との回答であったことから、10月時点では大筋合意には至らなかったところでございます。

道厚生連からの回答により、山麓7カ町村長からは、様々なご意見があったところではありますが、更に協議を重ねた内容により、先般、12月5日に検討協議会会長である私と副会長である蘭越町長並びに羊蹄山麓町村長会議の会長である喜茂別町長と3名で道厚生連を訪問し、

1点目として、倶知安厚生病院改築整備にかかる整備費用の全額（令和元年10月現在、概算費用28.2億円）を関係自治体

が負担すること。但し整備費用の変更が生じる場合は、関係自治体で協議すること。

2点目として、不採算部門にかかる赤字補てん額を2億円として、令和元年度実績に基づき、関係自治体が令和3年度より支援する。

3点目として、地域医療構想に係る再編・統合や社会保障費削減のための診療報酬改定など、国の政策や情勢が先行き不透明なことから、検討協議会において、倶知安厚生病院の診療機能及び関係自治体からの支援等について協議する。

以上の内容をもって、道厚生連代表理事会長・専務の同席の中、大筋合意に至ったところであります。

この合意内容を基に、12月定例会終了後、速やかに検討協議会を開催し、同協議会と道厚生連による（仮）「倶知安厚生病院整備及び財政支援に係る協定書案」を提案し、承認をいただくべき準備を進めて参ります。

また、改築整備負担に係る関係自治体の枠組みとして、改めて共和町長、岩内町長、黒松内町長と面会し、倶知安厚生病院の現状を説明し、自治体負担に関する協議に参加いただくよう要請してまいりました。3町におかれましては、一定のご理解をいただき、改築整備に係る協議への参加について、ご承諾をいただいておりますので、併せて、ご報告させていただきます。

今後、地域医療に対する地域住民の理解を深めながら、また、負担開始となる年度以降の財源確保等の課題が生じることとなりますので、国や北海道等に対しての支援要請を含め、強力に押し進めてまいり所存であります。

いずれにいたしましても、倶知安厚生病院は、この地域の人々が住み慣れた町や村で安全・安心して暮らし続けていくために、大変重要な役割を担っていただいているものであり、地域医療の確保の面のみならず、本町においては病院所在地でもあり、将来においても「無くてはならない倶知安厚生病院」であることは不変であるものと確信するところであります。議員各位におかれましては、格段のご理解、ご協力を切に切にお願いいたします。